

## 雨水浸透ます設置に補助を行っています

町では、雨水の流出を抑制して都市型水害の軽減を図り、地下水涵養くわんようにつなげるため、雨水浸透ますを設置する場合に、補助金を交付しています。

### ○補助金額

1基あたり1万円で、最大4基まで補助を行います。

### ○補助対象

次の①と②のいずれかに該当する場合が補助対象となります。

- ① 町内に自ら居住する住宅または当該住宅の付属建物に雨水浸透ますを設置する場合。
- ② 雨水浸透ますが設置されている新築の住宅などを住宅業者から購入した場合。

### ※注意点

共同住宅は対象になりません。浸透ますは、排水量の多い雨どいから接続できる位置に設置してください。雨水以外のものが流入しない浸透ますである必要があります。

その他、必要な条件は環境保全課にお尋ねください。

### ○申請方法

設置前に、必要な書類を添えて役場環境保全課に提出してください。雨水浸透ますが設置されている新築の住宅などを購入した場合は、購入契約締結日から起算して30日以内に、必要書類を添えて役場環境保全課に提出してください。

申請書は、役場ホームページからもダウンロードできます。

## 雨水貯留タンク設置の補助を開始しました

町では、今年度から上下水道の節水を目的とした雨水貯留タンクを設置する場合に、補助金を交付しています。

### ○補助金額

貯留容量200ℓ以上・1基あたり35,000円です。ただし、35,000円を下回る場合は、その額を上限とします。

貯留容量200ℓ未満・設置に要する費用の2分の1以内とし、

24,000円を上限とします。

### ○補助対象

次の①～④のすべてに該当する場合が補助対象となります。

- ① 町内に自ら居住する家屋を所有し、居住していること。
- ② 5年以上雨水貯留タンクを使用すること。
- ③ 雨水貯留タンクを所有していないこと。
- ④ 町税の滞納がないこと。

### ○雨水貯留タンクの規格

- ① 有効貯水量が50ℓ以上であること。
- ② 5年以上耐えられる構造および材質であること。
- ③ 散水などを行う機能があること。
- ④ 未使用であること。
- ⑤ 年度内に購入した雨水貯留タンクであること。

### ○申請方法

雨水貯留タンクを購入した後に必要書類を添えて環境保全課に提出してください。

その他必要な条件は、環境保全課にお尋ねください。

## 光化学スモッグなどに注意！

### 光化学スモッグが発生しやすい気象条件とは？

「光化学スモッグ」は4～10月頃にかけて、日差しが強く、気温が20℃以上で、風が弱く視程が悪い日に発生しやすくなります。

1日のうちでは、午前10時ごろから光化学オキシダントの濃度が増加し始め、午後1時～午後4時ごろに最も濃度が高くなります。

### 症状（被害）が出たらどうすればいいの？

主な症状は「目のチカチカやショボショボ」「のどの痛み」などで、症状がでたらできるだけ早く屋内に入り、水道水などのきれいな水で洗眼、うがいを十分に行い、安静にしてください。また、呼吸困難、けいれん、意識障害などを起こした場合は、速やかに医師の診断を受けるようにしてください。

### 大気汚染環境情報メールに登録しましょう

大気汚染環境情報メールに登録すると、光化学スモッグ注意報やPM2.5に関する注意喚起の情報が送信されます。

(登録方法)

QRコードを読み込むか、携帯電話から  
sky@123123.tv  
へ空メールを送信してください。



数分後に自動的にメールが返信されるので、メール文末のURLをクリックしてください（メールの返信がない場合、ドメイン指定などの設定が必要です）。

登録画面が表示されます。必要事項を選択し、登録ボタンをクリックして、登録完了です。

具体的な登録方法は、下記のアドレスを参照してください。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/43/kankyoutaikiosen.html>

### 大津町にもPM2.5「大津観測局」が設置されています

県では、県内各地でPM2.5（微粒子状物質）の濃度測定を行っています。そのうち、大津町では、平成25年12月に町生涯学習センターに測定局が設置されました。次のサイトで濃度の確認ができます。

○携帯電話用

<http://taiki.pref.kumamoto.jp/kumamoto-taiki/mobile/index.html>

○パソコン・スマートフォン用

<http://taiki.pref.kumamoto.jp/kumamoto-taiki/index.htm>

●問い合わせ(大気環境情報メール登録、サイトでの確認などについて)

県環境保全課 ☎096(333)2269

## SUMMER DREAMS

アメリカでは、5月になると多くの学生が「解放された！」と感じます。それは、学年の終わりが5月の中旬までだからです。学校の夏休みは5月から8月までで、色々なことができます。

子どもの頃は、夏になると野球が始まっていました。大きい高校ならば学生が多いのでチームのメンバーをすぐに集め、春か冬から練習できます。けれど、「My hometown」は、冬寒く、学校は小さかったのです。私が通った高校のメジャーなスポーツは、秋にアメフト（男性）とバレー（女性）、冬はバスケット（男女）とレスリング（男性）、春には陸上（男女）でした。全部をするには、学校のほとんどのアスリートが参加しないとできなかったのです。春に野球をするには人が足りなかったのです。だから5月に入って、プライベートのクラブチームで練習が始まり、シーズンは8月の中旬まででした。



Disney Worldで働いていた当時のブレイクさん

大学での夏休みは、インターンシップ（職場体験）や専攻の経験を積むのに良い時期です。私が大学生の時には、フロリダ州の Walt Disney World Resort と、バージニア州の一つの夏季限定の劇場で働いていました。

学校の休みは国によって違い、どういう風に過ごすかも、それぞれに違いますね。

## ウズベキスタンからアッサロームアレイクム

JICA ボランティア青年海外協力隊 職種：青少年活動 大塚麻里子

今回は、私の住むブハラを紹介です！ブハラは首都タシケントから約500キロ南西に位置し、9世紀からオアシス都市を結ぶ交易の十字路として栄えた歴史ある町で、旧市街はユネスコ世界遺産に登録されています。ブハラのシンボルであるカラーン・ミナレット（礼拝時刻を告げる塔）やモスク（礼拝所）、メドレセ（イスラム神学校）など、多くの荘厳なイスラム建築があり観光シーズンは旅行者で賑わいます。町を歩くと、まるで中世にタイムスリップした



ブハラのシンボル、カランミナレット（高さ46メートル）

かのよう。レンガ造りの茶色の町並みに雲ひとつない真っ青な空のコントラストは贅沢な光景です。またウズベキスタンの工芸品であるスザニ（刺繍布）、ブハラ名物コウノトリが象られたはさみ、スパイス屋さんなどが軒を連ね「コンニチハ〜」と気さくに話しかけてくれます。私はよく旧市街を散歩します。季節や時間帯が違えば、違った表情を見せてくれます。私はこの町が大好きです！百聞は一見にしかず！ぜひ、遊びにきてください。

かのように、レンガ造りの茶色の町並みに雲ひとつない真っ青な空のコントラストは贅沢な光景です。またウズベキスタンの工芸品であるスザニ（刺繍布）、ブハラ名物コウノトリが象られたはさみ、スパイス屋さんなどが軒を連ね「コンニチハ〜」と気さくに話しかけてくれます。私はよく旧市街を散歩します。季節や時間帯が違えば、違った表情を見せてくれます。私はこの町が大好きです！百聞は一見にしかず！ぜひ、遊びにきてください。



古代よりオアシス都市として栄えた

## スズメバチに注意を

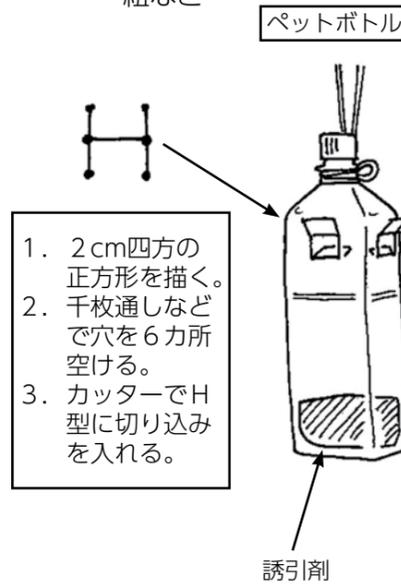
スズメバチは例年5月から6月にかけて女王バチが庭木や植栽などに巣作りを始めます。7月頃から働きバチにより巣が拡張され、秋には巣の大きさがピークを迎えます。

先月号でお知らせしたように、人に危害を加える恐れのある巣は条件を満たせば町が駆除しますが、巣をかけたられた時点で刺されるリスクが高くなりますので、まずは巣をかけたせない事が一番です。

そこで、自己防衛のために家の周辺に巣を作らせないように、誘引トラップの作り方を紹介します。

### トラップの作り方

材料 ペットボトル  
誘引剤  
紐など



1. 2cm四方の正方形を描く。
2. 千枚通しなどで穴を6カ所空ける。
3. カッターでH型に切り込みを入れる。

### 誘引剤の調合例（割合）

焼酎：オレンジジュース 1：1  
（焼酎は、においの強いもの）  
清酒：酢：砂糖  
1800ml：250ml：500g  
など、調合はいろいろあるようです。

- 手順**
- 1 ペットボトルにカッターなどでH型の切り込みを入れ、ハチの出入り口をつくります。
  - 2 誘引剤をつくり、ペットボトルの中にいれて、紐をつけて完成です。
- 注意点**
- ① 高さ2mくらいで、直射日光が当たらないところに吊り下げます。
  - ② 誘引剤は1〜2週間程度で新しい物に取り替えましょう。
  - ③ 7月以降は女王バチではなく働きバチが飛んでくるので、トラップの設置はやめましょう。
  - ④ 死んだハチにも刺されることがありますので針の部分に触らないように

## 生ごみを減らしましょう

家庭から出る可燃ごみのうち約40%が生ごみで、生ごみの約80%は水分が占めています。

平成26年度の家庭から出た燃えるごみの量は約5,435トンで、そのうちの1,739トンが水分だと推測されます。1人当たりで計算すると、年間51・5kgに当たります。

水切り、ひと絞りはごみ減量化に大きな効果が見込まれます。

コンポスト類の購入には補助金制度もあります（広報4月号参照）ので、ぜひご利用ください。

また、プラや紙としてリサイクルできるゴミは資源ごみです。燃えるごみとして出さないよう注意しましょう。

